

Symantec Endpoint Protection

クライアント利用の手引き

Ver. 02
情報センター

目次:

A 申請・利用開始手順	p.2
B インストール手順	p.4
C Symantec Endpoint Protection の使い方	p.9
D ウィルスに感染した時の動き	p.12
E アンインストール方法	p.13

A. 申請・利用開始手順:

A-1. パソコン購入時

1. パソコンの見積内容から市販のウィルス対策ソフトを外した上で、包括ライセンスのウィルス対策ソフトが必要であることを物件申請書に記入して下さい。
2. 包括ライセンス契約の委託業者(*1)からパソコンを購入する場合は、予めパソコンにウィルス対策ソフトがインストールされた状態で納品されるため、インストール作業は不要です。包括契約の委託業者以外から購入した場合は、「A-2. パソコン購入時以外」の手順に従って下さい。

(*1) 2016年4月1日現在の包括ライセンス契約の委託業者は中京大学生協、電子システム、エヌエーマック、三谷商事の4社です。

A-2. パソコン購入時以外

1. 公式サイト内にある情報センターのホームページから「包括契約使用申請書 兼 誓約書フォーム」に必要な事項を入力して、申請をします。

※ 以下の手順は公式サイトの変更等でレイアウトや表現が一部手引きと異なる可能性があります。

※ 2016年6月現在行政職員のフォームによる申請は未対応です。CoCoA掲載の様式にて申請ください。



各種申請書 (教職員)

申請書の種類 (フォーム形式)

個人情報の利用目的
申請者が記入した個人情報は各申請書の目的とするサービスの管理/運用の必要範囲内

教員用申請フォーム

申請フォーム	内容
授業用ネットワークドライブ 利用申請フォーム	演習室実習室及び@cncdriveで課題提示及び提出用(Sドライブ)を利用する場合に申請する。
包括契約使用申請書 兼 誓約書 フォーム	中京大学が包括契約するソフトウェア(ウィルス対策の申請書 兼 誓約書)です。専任教職員が申請可能です。 ※adobe社、microsoft社の包括契約はCoCoAに掲載して下さい。

- (1) 公式サイトトップページから「在学生・教職員」「情報センターサービス」「各種申請書」「包括契約使用申請書 兼 誓約書フォーム」をクリックします。

下記のような「権限が必要です」という画面がでる場合は、m.mail に一旦ログインした後に再度実行して下さい。



権限が必要です

このフォームは、オーナーの組織に所属するユーザーのみが表示できます。
問題だと思う場合は、フォームのオーナーにお問い合わせください。詳細



(2) 必要事項を順次入力します。なお複数台を同時に申請したい場合は備考欄に「複数台申請あり」と記入して下さい。

※MACアドレスの調べ方が分からない場合は下記のサイト等を参考にして下さい。

(参考)

[NECサポート]

<https://121ware.com/qasearch/1007/app/servlet/relatedqa?QID=011954>

[DELLサポート]

<http://www.dell.com/support/article/us/en/19/SLN293948/ja>

※シリアル番号の調べ方が分からない場合は製造元のサイト等を参考にして下さい。

(参考)

[富士通サポート]

<https://www.fmworld.net/cs/azbyclub/qanavi/jsp/qacontents.jsp?PID=4002-6781>

[Panasonicサポート]

<http://faq.askpc.panasonic.co.jp/faq/docs/000265>

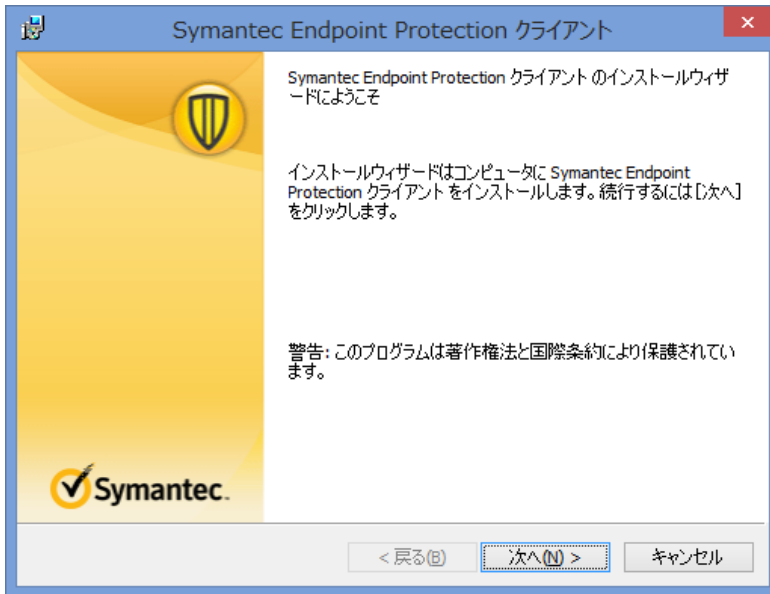
[DELLサポート]

<http://www.dell.com/support/contents/jp/ja/jpdhs1/category/Product-Support/Self-support-Knowledgebase/locate-service-tag>

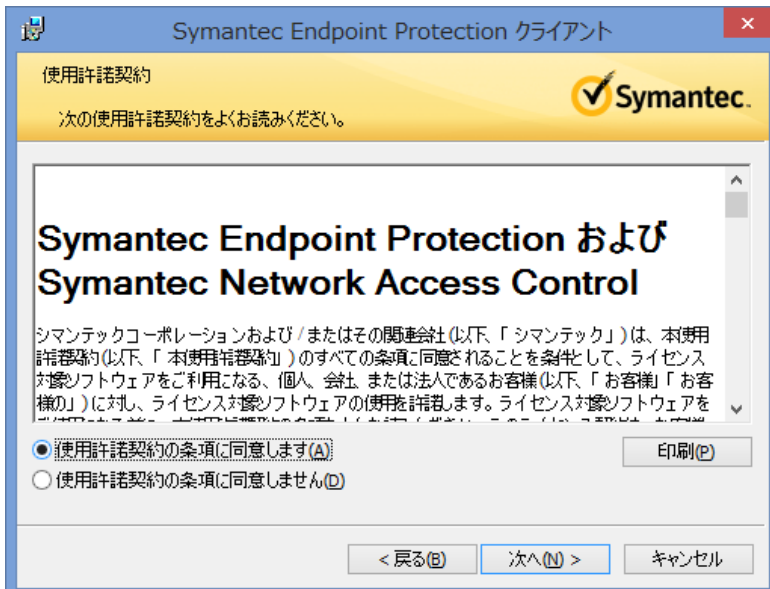
2. 申請後、情報センターより、インストーラーをダウンロードできるURLがメールにて送られてきます。「B.インストール手順」に従って、作業を進めて下さい。

B. インストール手順:

1. 既にウイルス対策ソフトがインストールされている場合は、お使いのウイルス対策ソフトウェアを削除してください。
2. メールにて届いたダウンロードURLからダウンロードしたファイル「Setup.exe」をダブルクリックしてインストールプログラムを起動してください。※インストール画面が出るまでしばらくかかります。
3. インストールプログラムが起動すると以下のウィンドウが出ます。「次へ」を押します。



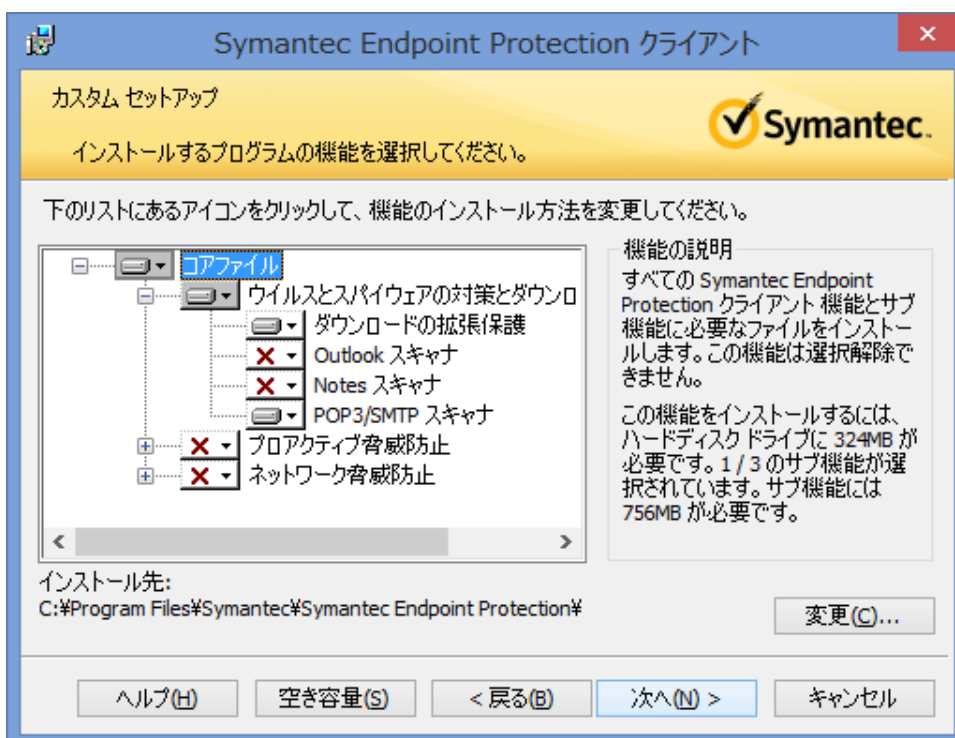
4. 使用許諾画面で「同意します」を選択し、「次へ」を押します。



5. セットアップの種類画面です。通常は「標準」を選択して、インストール先を変えたい場合は、「カスタム」を選択して、「次へ」を押してください。（※「標準」を選択した場合は、7. に進んでください）



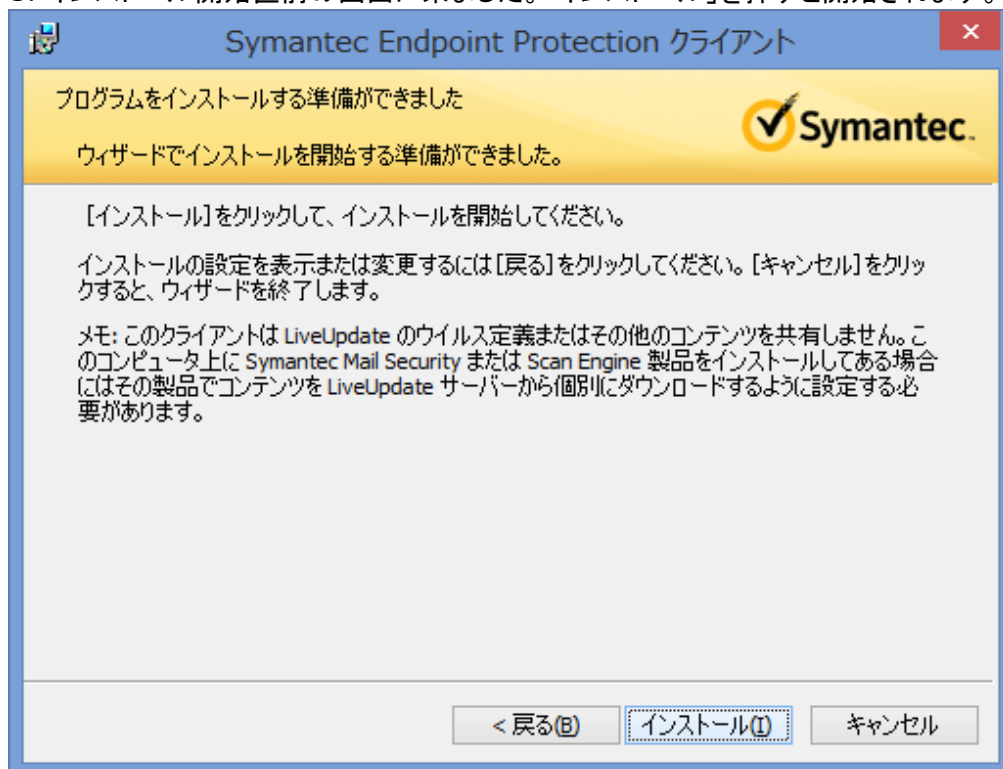
6. カスタムセットアップ画面です。インストール先を変更したい場合は、「インストール先:」にある「変更 (C)」を押して、希望のフォルダを指定します。



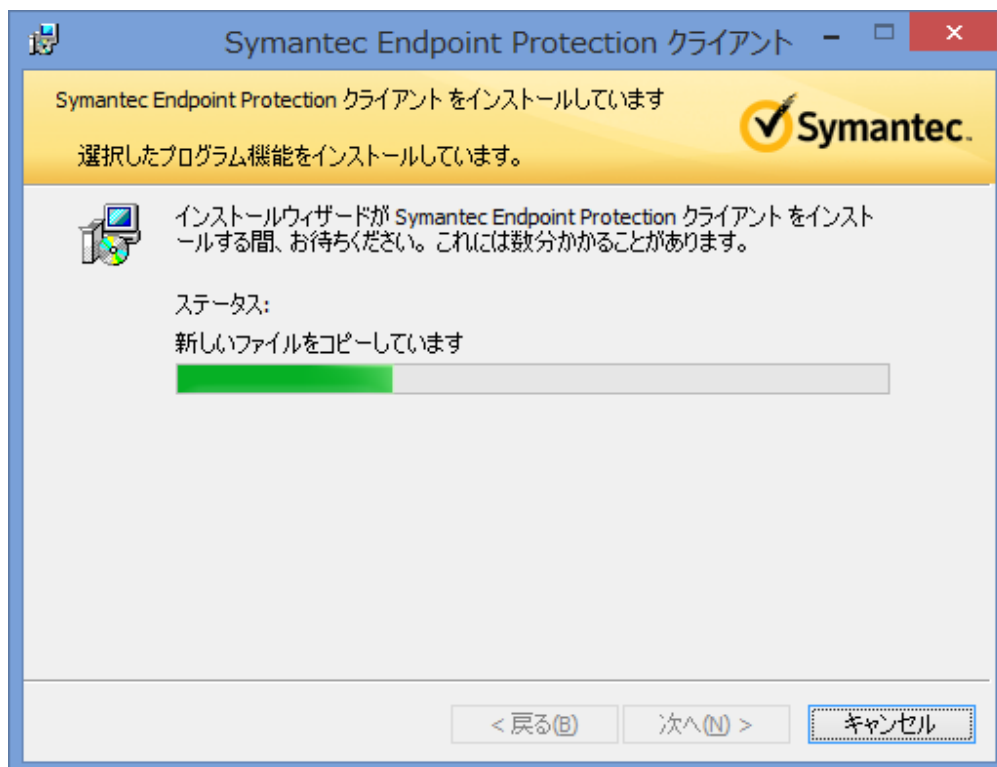
7. ファイル評価データ提出の画面です。初期状態ではチェックを外していますが、チェックを外したままでも特に問題ありません。「次へ」を押します。



8. インストール開始直前の画面に来ました。「インストール」を押すと開始されます。



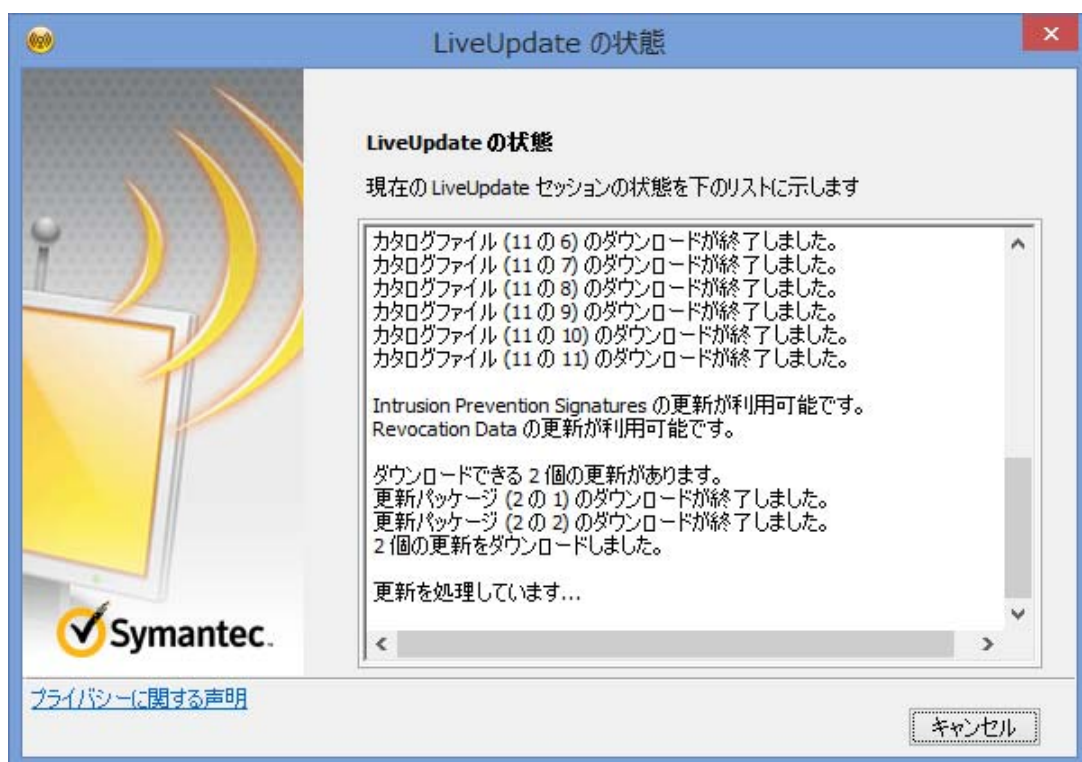
9. インストール実行中です。



10. インストールが完了しました。



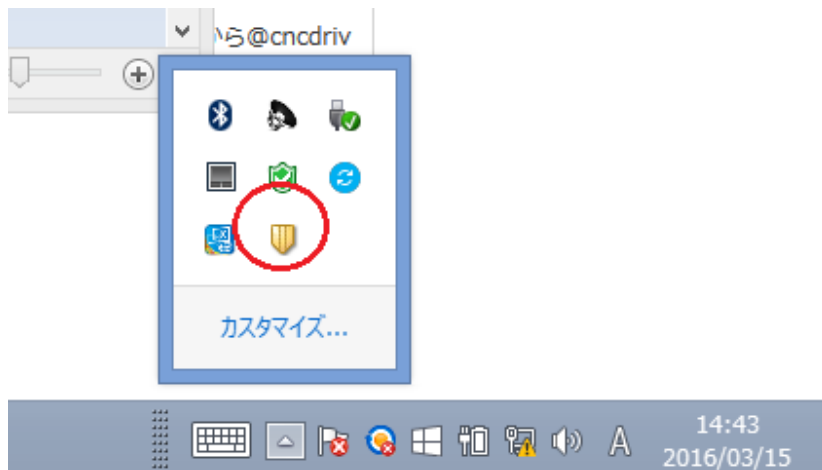
11. インストール完了してしばらくすると、LiveUpdate実施の画面が出ます。LiveUpdateはウイルスパターンファイルを最新にするツールで、自動実行されパターンファイルが最新化されます。



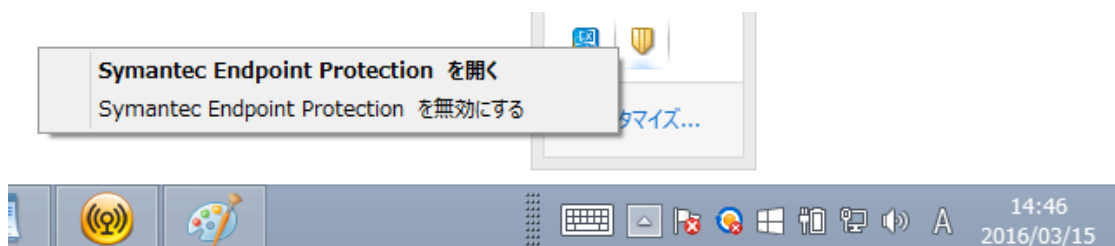
インストール手順以上です。

C Symantec Endpoint Protectionの使い方

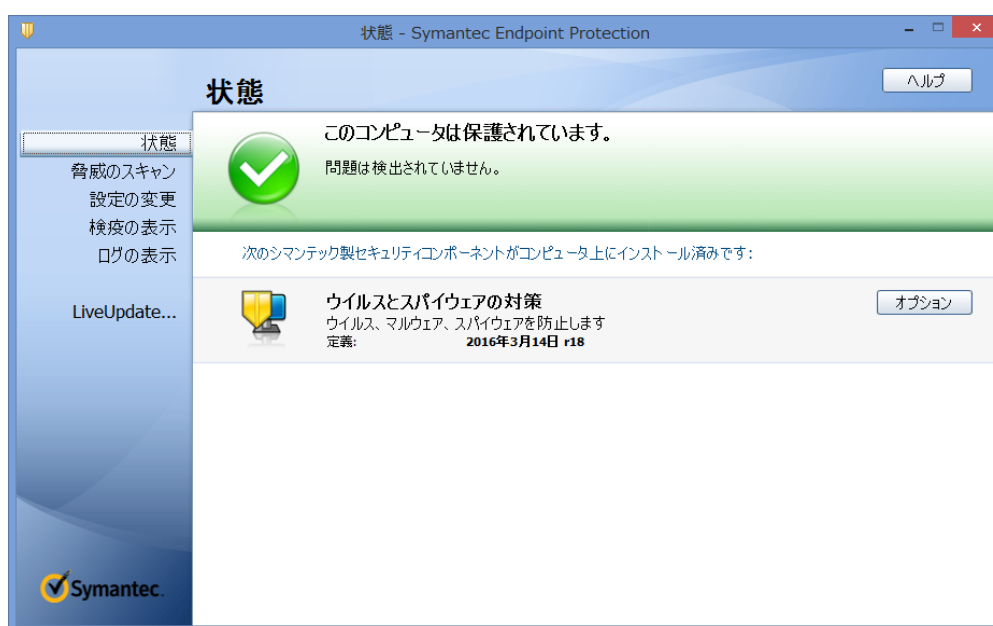
1. Symantec Endpoint Protectionはパソコン起動と同時に自動起動します。起動中かどうかはデスクトップ下のタスクバーで確認できます。



2. このアイコンの上で右クリックするとメニューが出てきます。
- ・「Symantec Endpoint Protectionを開く」は管理画面が開きます。
 - ・「Symantec Endpoint Protectionを無効にする」は一時的に停止状態にします。



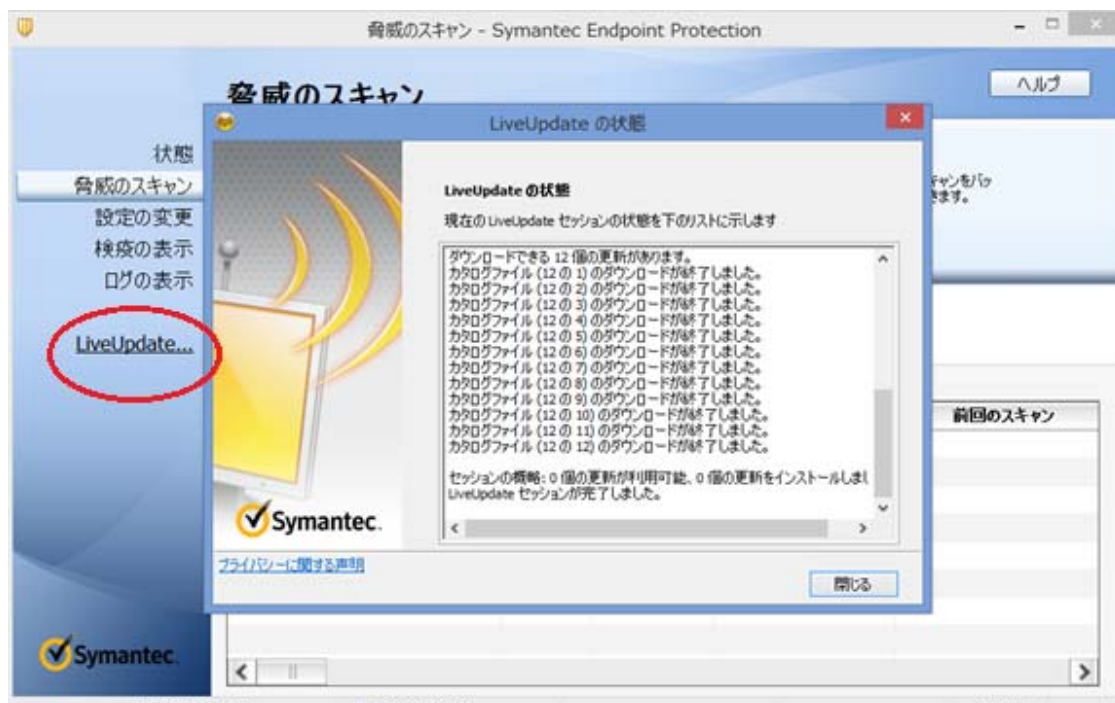
3. 管理画面を開いたところ。「このコンピュータは保護されています。」の表示が正常な状態となります。



4. 手動スキャンを実施する場合は、右横にある「脅威のスキャン」を選び表示される、「アクティブスキャン」「完全スキャン」を目的によって選び実施します。



5. LiveUpdateの手動実行はここから実施します。



6. ログを見るためには「ログ表示」を押します。



7. ウィルスに感染した履歴をみるには「ウイルスとスパイウェアの対策」の横にある「ログの表示」をクリックすると以下のとおり、三種類のログの選択が可能になります。

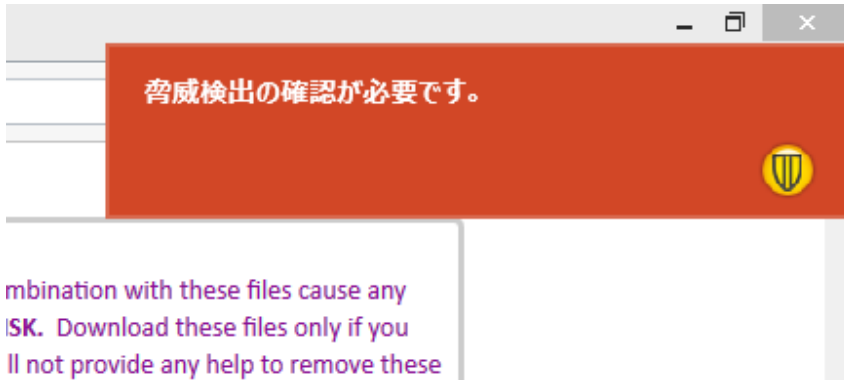


8. 「リスクログ」を選択すると、感染履歴が表示されます。

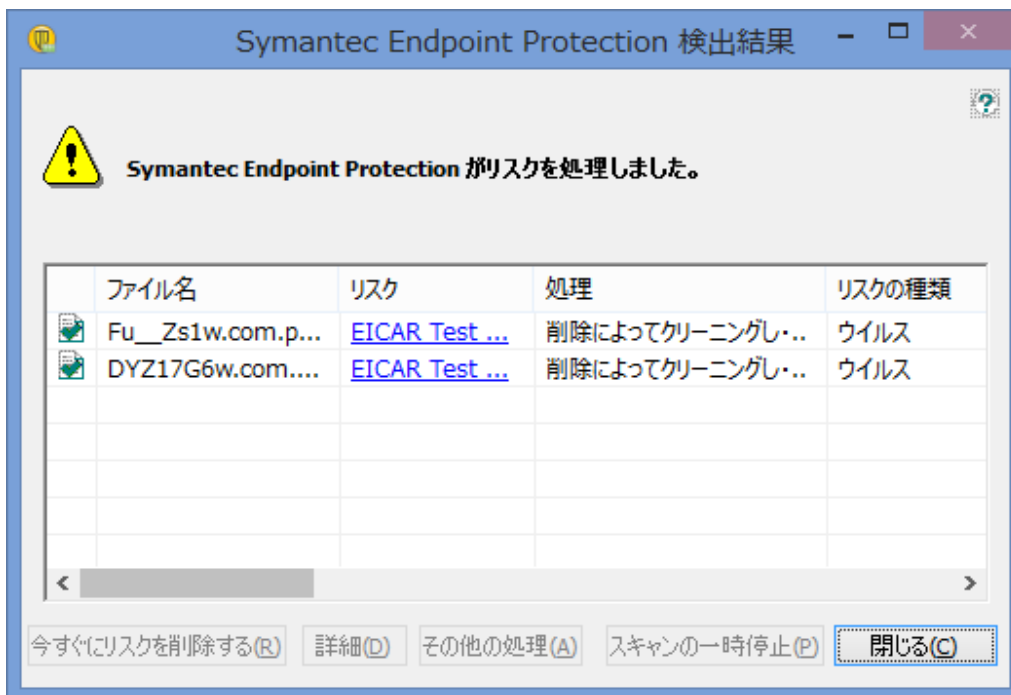


D. ウィルス検知した時の動き

1. ウィルスを検知した場合、デスクトップ右上に警告画面が表示されます。



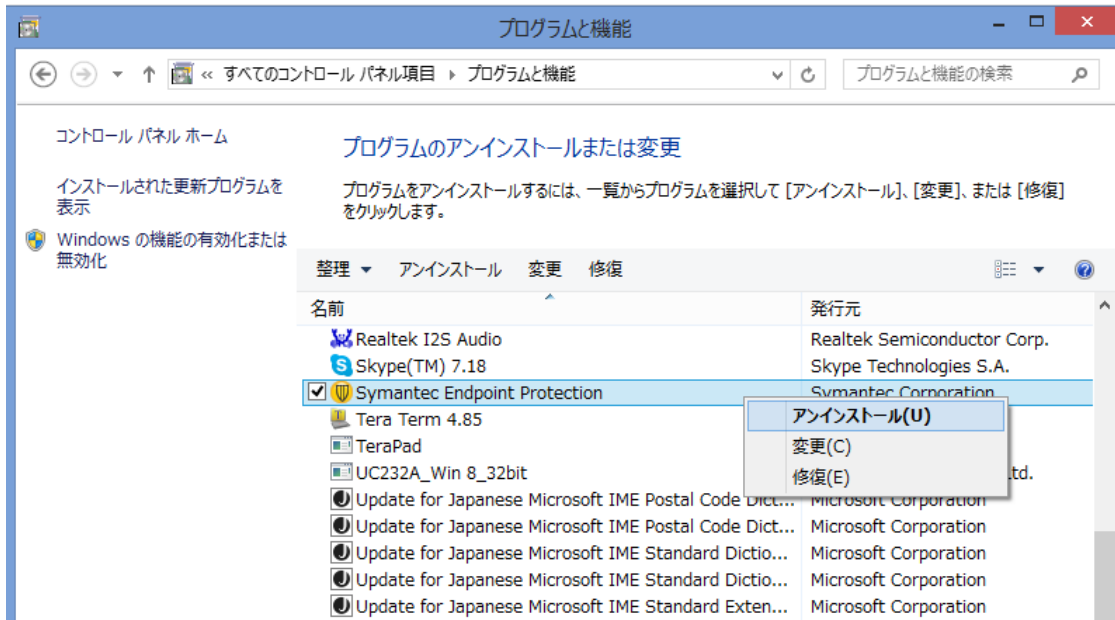
2. 続いて検出結果が表示されます。処理の欄にあるのは対応結果です。



E. アンインストール方法

アンインストールするには「コントロールパネル」>「プログラムと機能」を表示させます。

Symantec Endpoint Protectionを選択し、右クリックして「アンインストール」を選択し、アンインストールのウィザードに沿って実施します。



ヘルプサポート・お問い合わせ先

ヘルプデスク (<http://www.chukyo-u.ac.jp/student-staff/it/e4.html>)

メール: jsys-all@mng.chukyo-u.ac.jp

電話: (名古屋キャンパス) 3628 (内線)、052-835-7212 (外線)

(豊田キャンパス) 6809 (内線)、0565-46-6901 (外線)

受付時間: 月～金 13:00～17:00